



# ミランダ語と映画『日本からミランダの大地へ』

—フィールドワーカーがインフォーマントに映像として料理される位相—

**講演者：寺尾智史**

神戸大学大学院国際文化学研究所助教

ポルトガル映画『日本からミランダの大地へ』主演

**日時：2010年12月22日（水）**

**セミナー 17：00～18：20**

（50分のDVD上映を含む。参加自由・無料）

**懇親会 18：30～20：00**

（参加希望者は飲み物と食べ物を持ってきてください。持ち寄りパーティ方式の楽しい懇談会にしましょう。紙コップと皿は準備しておきます）

**会場：神戸大学国際文化学研究所  
学術交流ルーム（E410）**

今回の主題は、少数言語ミランダ語が話されている社会（ポルトガル北東部）について調べているフィールドワーカーを主演にすえた、地元インフォーマントたちによって企画された映画についてです。インフォーマントがフィールドワーカーをどのように見ているか？その実例を、映画を見つつ、フィールドワーカー本人が、ミランダ語をめぐる基本情報もふくめて「被写体の立場」から解説します。「見る人と見られる人」が逆転した不思議な空間をあなたも気軽に参与観察してください。

お問い合わせ

坂本千代研究室

Tel:078-803-7425

Email:csakamot@kobe-u.ac.jp

異文化研究交流センター (IReC)

Tel/Fax:078-803-7650

Email:irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp

